

KOBE KAISEI HOSPITAL

News Letter

2025
AUTUMN

発行・編集
広報委員会



ごあいさつ

ようやく秋の気配が深まり、朝夕は涼しく感じられる季節となりました。
皆さまいかがお過ごしでしょうか。
日頃より当院の医療活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

広報誌2025秋号では、秋から冬に向けて流行する感染症のお話を掲載させて頂きます。是非、ご一読下さいますようお願い致します。

〒657-0068
兵庫県神戸市灘区篠原北町3-11-15
Tel: 078-871-5201
URL: <https://www.kobe-kaisei.org/>

広報委員会



秋から冬に流行する感染症

神戸海星病院 内科 俣木 宏之 医師



01 | 感染症について

猛暑の夏が過ぎ、これから秋から冬にかけてインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行しやすくなります。これらは症状の違いがありますが、いずれも予防と早期対応が重要です。

02 | インフルエンザ

インフルエンザは11月から3月に多く、特に12月がピークです。咳や喉の痛み、筋肉痛などが主症状で、A型・B型いずれにも感染する可能性があります。

ワクチンは毎年流行株を予測して作られ、発症予防効果は約3割ですが、重症化を防ぐ効果は3~7割と高く、接種が推奨されます。発症後は48時間以内なら抗インフルエンザ薬が有効です。

03 | マイコプラズマ感染症

マイコプラズマ感染症は秋冬に多く、持続的な咳が特徴で、潜伏期も長く周囲に感染しやすいため注意が必要です。

細胞壁を持たないためペニシリン系は無効で、マクロライド系抗菌薬が使用されます。手洗いやうがい、マスクでの予防が有効です。



04 | ノロウイルス・ロタウイルス感染症

下痢や嘔吐を伴う感染症ではノロウイルスとロタウイルスが代表的です。

11月下旬から流行し、12~1月はノロ、3~4月はロタが主体です。

主症状は下痢や嘔吐で、感染者の便や吐物、あるいは二枚貝などの食品を介して広がります。多くは自然に回復しますが、脱水には注意が必要で十分な水分補給が大切です。

予防は食物の鮮度に注意することや手洗いが効果的で、吐物処理時はマスク・手袋着用をすることが重要です。



05 | RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は乳幼児に多いと思われがちですが、高齢者でも免疫低下により重症化しやすく入院の原因となります。

症状は感冒に似ていますが、喘鳴など呼吸器症状が目立ちます。

2024年からワクチンが日本で60歳以上に対して使用可能となりました。

06 | ワクチンについて

ワクチンに関しては、インフルエンザワクチンは重症化防止を目的とし、副反応は少なく毎年接種が望まれます。

RSワクチンは高齢者の入院や重症化予防に効果が期待されています。新型コロナワクチンはmRNA技術により開発され、デルタ株期には重症化予防に大きな役割を果たしました。

オミクロン株以降、致死率は下がりましたが感染者は増加し、高齢者や基礎疾患を持つ人では依然として重症化が見られるため、定期的な接種が推奨されています。副反応として倦怠感や頭痛が多く、心筋炎は接種回数が進むにつれ減少傾向です。

なお2024年4月以降は基本的に自己負担となり、65歳以上などが対象で最大7000円の負担で接種可能です。コロナ後遺症のリスク軽減効果も示されており、若年層でも接種の意義があります。

07 | 感染症にかからないために

総じて、感染症予防にはワクチン接種だけでなく、免疫力を維持する生活習慣が欠かせません。バランスの良い食事、十分な睡眠、適度な運動に加え、喫煙は免疫を下げ感染リスクを高めるため禁煙が強く推奨されます。

これらを心掛け、これからの季節を健康に過ごすことが大切です。



内科 俣木 宏之 医師



お知らせ

★インフルエンザの予防接種を開始しております

● 完全予約制

コールセンター、総合受付、2階ブロック受付にて予約受付

● 接種期間

2025年10月6日～2025年11月28日

月・水・金 15:00～15:30

● 料金

15歳から64歳 ￥5,434円(税込)

65歳以上(神戸市在住) ￥1,500円(税込)

※住所が確認出来るものご持参下さい。



★年末年始について

2025年12月30日～2026年1月4日は休診致します。

医師や診療科によって他に休診もございますのでホームページでの確認、お電話でお問い合わせお願い致します。

新入職医師のお知らせ

10月1日より新しい医師が入職致しましたのでお知らせ致します。

◆ 安富 真道(やすとみ まさみち)

診療科 : 内科(専門:循環器) 診察曜日:月・水

これまで循環器診療を行ってきた経験を活かして、当院では心臓リハビリテーションや心不全治療などを中心とした内科診療を行っていきます。よろしくお願いします。